



◀喜びと生きがいのある

生涯を求めて

2月6日、「第16回笠岡市生涯学習フェスティバル」が市民会館で開催されました。

舞台発表やパネル展示で各地区公民館・各種団体などが活動成果を発表。また、そば打ち体験なども行われ、終日たくさんの人が訪れていました。

午後からは郷土が生んだ詩人・小説家の木山捷平の生誕100周年を記念して特別講演。ご子息の木山萬里さんが父捷平の意外な素顔を語り、シンポジウムでは、笠岡市文学賞の関係者など4人が木山捷平の魅力を語り合いました。

かさおか
ウオッチング
Photo



▶心をはぐくむ茶道体験

2月2日、卒業を前にした城見小学校の六年生が、城見公民館で茶道体験を行いました。

三十人の児童は、慣れない正座に悪戦苦闘しながらも、講師の八代恵美子先生から茶道の心得を聞き、実技体験では実際にお茶をたてるなどして、日本の伝統文化を学びました。なかには、お茶がおいしかったのかお代わりする人も。



◀歩いて新山の歴史を学ぼう

住民グループ、にいやま「文化を楽しみ育てる会」が主催する歴史探訪ウォークが、2月11日に開催されました。

市内外から約150人が参加し、元井笠鉄道新山駅の井笠鉄道記念館や、地区が一望できる岩見山など、全部で14カ所を巡る約4.5kmの道のりを、案内役の説明を聞きながら歩きました。

また、ゴールの後には、おむすびとあったかい豚汁が振る舞われ、みんなおいしそうにほおばり、ウォーキングの疲れをいやしていました。



▶これはぼくの札だ！

2月10日、小北中学校で百人一首大会が行われました。この日のために一生懸命練習してきた生徒たちは、読み手の声に耳を澄ましなが、「はい！」「よし！」と声を上げて、次々と札を取っていききました。

この大会は、今年で二十四回目を数える小北中学校の伝統の行事で、学年の枠を越えて生徒同士の友愛を深めるために、毎年行われています。

